

FileMaker® Server 15

セットアップ要件



© 2007-2016 FileMaker, Inc. All Rights Reserved.

FileMaker, Inc.

5201 Patrick Henry Drive

Santa Clara, California 95054

FileMaker 及びファイルメーカーは、FileMaker, Inc. の米国及びその他の国における登録商標です。ファイル フォルダロゴ、FileMaker WebDirect は、FileMaker, Inc. の商標です。その他のすべての商標は該当する所有者の財産です。

FileMaker のドキュメンテーションは著作権により保護されています。FileMaker, Inc. からの書面による許可無しに、このドキュメンテーションを複製したり、頒布することはできません。このドキュメンテーションは、正当にライセンスされた FileMaker ソフトウェアのコピーがある場合そのコピーと共にのみ使用できます。

製品及びサンプルファイル等に登場する人物、企業、E メールアドレス、URL などのデータは全て架空のもので、実在する人物、企業、E メールアドレス、URL とは一切関係ありません。スタッフはこのソフトウェアに付属する「Acknowledgements」ドキュメントに記載されます。他社の製品及び URL に関する記述は、情報の提供を目的としたもので、保証、推奨するものではありません。FileMaker, Inc. は、これらの製品の性能について一切の責任を負いません。詳細情報については <http://www.filemaker.com/jp> をご覧ください。

第 01 版 2016 年 5 月 11 日作成

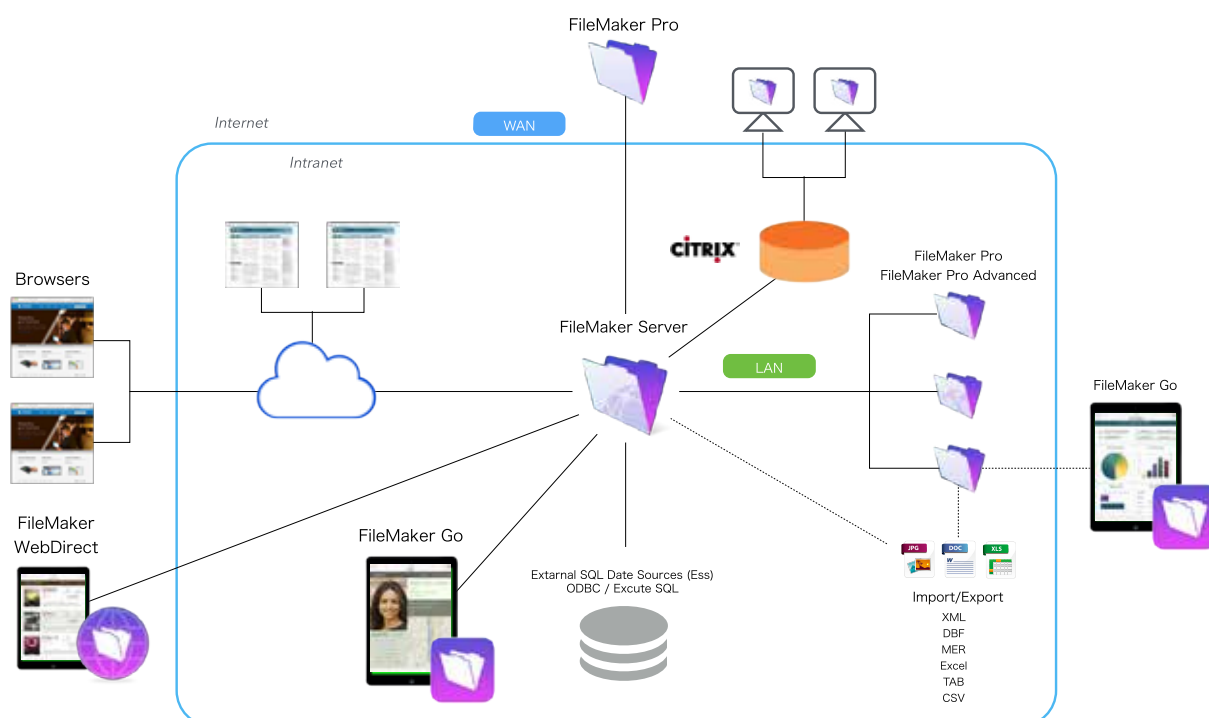
目次

1. はじめに	4
2. FileMaker Server 15 の動作環境	5
システム条件	5
ハードウェアの必要条件	5
FileMaker WebDirect	5
許容量	7
ネットワーク - クライアントの必要条件	7
必須ソフトウェア要件	7
その他の要件	8
廃止および削除されるテクノロジー	9
3. 使用されるポート	10
4. その他推奨事項	11
4. FileMaker Server 設定依頼確認書	15
4-1. Windows	15
4-2. OS X	17

1.はじめに

FileMaker Server は、FileMaker Pro (別途購入が必要) を用いて作成したデータベースソリューションを管理・共有し、ネットワーク上の FileMaker Pro、FileMaker Go、FileMaker WebDirect クライアントのどのような組み合わせでも使用可能です。

この資料は、FileMaker Server の初期セットアップを行う時に必要な確認事項をまとめたものです。インストールを行う前に、要件の確認を行います。(この資料は、FileMaker Server v15 を対象としています)



詳細情報につきましては「FileMaker Server 15 入門ガイド」とあわせて下記の Web ページをご覧ください。

- FileMaker Server 15 技術仕様
<http://www.filemaker.com/jp/servertechspecs>
- Microsoft Application Request Routing (ARR) を手動でインストールする方法
http://filemaker-jp.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/13815/
- FileMaker Server によって使用されるポート番号
http://filemaker-jp.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/14940/

2. FileMaker Server 15 の動作環境

システム条件

備考：Windows Client OS (Windows 7, 8, 8.1, 10 等)、OS X Mountain Lion、および OS X Mountain Lion Server はサポートされません。FileMaker Server 15 にアップグレードする前に、オペレーティングシステムをアップデートしてください。

オペレーティングシステム
Windows Server 2012 R2 Standard Edition (更新プログラム 2919355 をインストール済み)
Windows Server 2008 R2 SP1 Standard Edition、Enterprise Edition
OS X El Capitan 10.11
OS X Yosemite 10.10

* 上記システムの記載バージョンは必要最低条件です。FileMaker Server は、FileMaker, Inc. により認定される上記システムの将来バージョンでも動作することがあります。上の表に記載されていないオペレーティングシステムでも動作する可能性があります。ただし、検証されていないため、サポートされません。FileMaker Server を Windows にインストールする際には、インターネット接続が必要となります。

ハードウェアの必要条件

FileMaker Server 専用コンピュータを用意することを推奨します。

データベースサーバー	最低要件	推奨
CPU	Dual Core	4 Core
RAM	4GB	8GB
ハードドライブ	80GB 以上、ファイルサイズにより依存	80GB 以上、ファイルサイズにより依存

スタンバイサーバー

スタンバイサーバーを運用する場合は、同一構成の 2 台のサーバー用マシンが必要です。両方のマシンが、上記の「ハードウェアの必要条件」に記載されている、(最低要件ではなく、) 推奨要件を満たすか、上回る必要があります。スタンバイサーバーは、メインサーバーと同じ LAN 上に展開されなければなりません。

FileMaker WebDirect

FileMaker WebDirect は Web ブラウザからアクセスできます。サポートされる Web ブラウザは次の通りです。

デスクトップブラウザ	モバイルブラウザ
Safari 9.x	iOS 9.x 上の Mobile Safari 9.x
Chrome 48 以上	Android 5.x, 6.x 上の Chrome 48 以上
Internet Explorer 11.x	
Microsoft Edge 25 以上	

モバイルブラウザの制限事項

FileMaker WebDirect をモバイルブラウザで実行する場合、次の制限事項があります。

- オブジェクトフィールドはコンテンツの表示のみをサポートします。オブジェクトデータの挿入、エクスポート、および編集はサポートされません。
- 一部のダイアログボックスはタッチ操作用に最適化されません。

モバイルハードウェアの必要条件 *

	要件
iOS	iPad Air、iPad Air 2、iPad mini 3、iPad mini 2、iPad Pro、iPhone 6、iPhone 6 plus、iPhone 6 s、iPhone 6 s plus
Android	メモリ：2 GB 以上の RAM CPU：1.4GHz 以上のクアッドコアプロセッサ 画面サイズ：5 インチ以上

* FileMaker WebDirect は、上表に記載されていないデバイスでも動作する可能性があります。記載されていないデバイスは検証されていないため、サポートされません。

モバイルネットワークの必要条件

信号の強度と接続性が安定しているネットワーク接続が必要です。

サポートされるモバイルネットワーク		
WiFi	LTE	4G

推奨されるハードウェア構成

推奨される Web 公開サーバーの構成			
FileMaker WebDirect 同時接続ユーザーの数	Web 公開用に 2 台目のマシンを推奨	RAM	CPU
1-6	推奨しない	2 台目のマシンは必要ありません。データベースサーバーにインストールしてください。	
7-25	推奨	8 GB	4-Core
26-50	推奨	12 GB	8-Core
51-100	推奨	16 GB	12-Core

同時接続

FileMaker WebDirect Web ブラウザクライアント、FileMaker Pro（ユーザ接続用）クライアントおよび FileMaker Go クライアントを使用してデータベースサーバーに保存されているデータにアクセスする権利を含みます。FileMaker WebDirect は、FileMaker Server 15 の同時接続機能を利用してアクセスされます。Web ブラウザのウィンドウまたはタブそれぞれが 1 つの接続としてカウントされます。FileMaker Server 15 には同時接続が 1 つ付属しています。追加の接続は、FileMaker Server Admin Console または FileMaker Store から購入できます。

ユーザ接続

「ユーザ接続」を使用して、クライアント（FileMaker Pro（ユーザ接続用）、FileMaker Go および FileMaker WebDirect）から FileMaker Server に接続できます。各ユーザーは一度に 1 クライアントでのみ FileMaker Server に接続できます。接続は、FileMaker Server Admin Console から、または FileMaker Store の FileMaker Licensing for Teams セクションで購入できます。

サポートされる言語

日本語、英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スウェーデン語、オランダ語、スペイン語、中国語（簡体字）、韓国語、およびポルトガル語（ブラジル）

詳細

FileMaker WebDirect の詳細については、『FileMaker WebDirect ガイド』を参照してください。

許容量

次の表は、FileMaker Server 15 のテスト済みおよび理論上の上限数をリスト化したものです。テスト済みの上限数はテスト構成を反映したもので、パフォーマンスを保証するものではありません。

FileMaker Server 15		
クライアントの種類	検証値	最大許容値
FileMaker Pro (個人向けシングルライセンスおよび従来のボリュームライセンス)	250	無制限 *
カスタム Web 公開 (CWP) **	200	2000
ODBC/JDBC	50	無制限 *
FileMaker Pro (ユーザー接続用)	100	100
ユーザー接続 FileMaker Go	100	100***
ユーザー接続 FileMaker WebDirect	100	100

* 接続数の上限はハードウェアの構成、データベースのデザイン、オペレーティングシステムに依存します。

** 複数のユーザーが、単一の CWP 接続を共有することができます。CWP 接続は、持続的な接続よりもむしろ、同時にリクエストされるイベントを基にしたものです。

***FileMaker Go を使って 100 台以上の iOS デバイスから FileMaker Server に接続することをご検討の場合は、FileMaker 法人営業窓口までご相談ください。

ネットワーク - クライアントの必要条件

FileMaker Pro	FileMaker Pro および FileMaker Pro Advanced の各クライアントにライセンスされた本ソフトウェアが 1 コピー必要です。
ESS	サポートされるドライバのリストを参照してください。 http://www.filemaker.com/jp/support/technologies/sql.html

必須ソフトウェア要件

• Windows の場合

インターネットインフォメーションサービス (IIS)

以下は FileMaker Server インストール時にインストールされます。

- Bonjour
- Microsoft Visual C++ 2013 Redistributable Package (x64)
- Microsoft Application Request Routing extension for IIS
- Java Runtime Environment version 8

【参照】

FileMaker Server 15 は、インストールする環境に Microsoft Application Request Routing (ARR) extension for IIS がインストールされていない場合、最初にインターネットに接続して ARR をインストールします。もし、インターネット接続が無い環境で FileMaker Server をインストールする場合には、FileMaker Server をインストールする前に、次の手順で ARR のモジュールをダウンロードして、手動でインストールする必要があります。

Microsoft Application Request Routing (ARR) 3.0 のインストール手順

1. インターネットを使用して、Microsoft 社のサイトにアクセスします。

2. インストーラーをダウンロードします。

【メモ】 FileMaker Server 15 には、64 ビット版のモジュールが必要です。X86 server (32 ビット版) 用のモジュールは使用できません。

3. ダウンロードした インストーラーを、FileMaker Server 15 をインストールするマシンにコピーし、インストールを行います。

4. 上記のインストールが完了した後に、FileMaker Server 15 のインストールを行います。

【メモ】 詳しくは「Windows 版 の FileMaker Server 13.0v2 以降をインストールするために、Microsoft Application Request Routing (ARR) を手動でインストールする方法」をご参照ください。

http://filemaker-jp.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/13815

• OS X の場合

以下は FileMaker Server インストール時にインストールされます。

- Java Runtime Environment version 8

その他の要件

テクノロジー	要件
Java	FileMaker Server 15 は、2016 年 5 月現在、JRE 1.8.0_73 と機能することが確認されています。Java の最小要件は、JRE 1.8.0_73 です。詳しくは以下のページをご参照ください。 http://filemaker-jp.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/14107

テクノロジー	要件
PHP	<p>FileMaker Server 15 は、PHP エンジン、FileMaker API for PHP、資料を含め、PHP の使用に必要なものをインストールします。FileMaker, Inc. によって認定された最新バージョンの PHP を使用してください。</p> <p>Windows のユーザは PHP 5.5.31 が必要です。 OS X 10.11 のユーザは PHP 5.5.31 が必要です。 OS X 10.10 のユーザは PHP 5.4.14 が必要です。</p>
Admin Console	<p>FileMaker Server Admin Console には、FileMaker Server 15 へのネットワークアクセスがあるマシンから、Web ブラウザを介してアクセスします。サポートされる Web ブラウザは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> Safari 9.x Internet Explorer 11.x Chrome 48 以上 Microsoft Edge 25 以上 <p>これらのバージョンは最小要件です。FileMaker Server Admin Console は、FileMaker, Inc. により認定されるブラウザの将来バージョンでも動作する可能性があります。</p>
サポートされる ESS	<p>MS SQL Server 2008 R2 MS SQL Server 2012 MS SQL Server 2012 SP1 MySQL 5.6 Community Edition (無料版) Oracle 12c R1 Oracle 11g R2 IBM I 7.1 (AS/400)(Actual Technologies Adapterk 経由) IBM DB2 10.5 (Actual Technologies Adapterk 経由) Postgre SQL 9.4.4 (Actual Technologies Adapterk 経由)</p>
セキュリティ	<p>ソリューションファイルが FileMaker Pro 15 Advanced によって暗号化されるときに、保存データの AES 256 ビット暗号化をサポートします。AES 256 ビット暗号化されたファイルの共有、読み取り、書き込みは、FileMaker 15 プラットフォームのすべての製品でサポートされます。</p> <p>ソリューションファイルが FileMaker Server 15 でホストされるときに、転送データの AES 256 ビット暗号化と併せて SSL をサポートします。</p> <p>ソリューションファイルが FileMaker Server 15 でホストされる際の介入者攻撃を防ぐために、第三者機関である認証局 (CA = Certificate Authority) の SSL 証明書をサポートします。</p>

廃止および削除されるテクノロジー

FileMaker, Inc. では、FileMaker プラットフォームの改良のために、最新技術への投資を継続的に行っています。これにより、FileMaker ソフトウェアの将来バージョンにおいて、特定の機能やオペレーティングシステムの対応が廃止される可能性があります。廃止予定の技術に関するリストは、こちらをご覧ください。

http://filemaker-jp.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/12749

3. 使用されるポート

FileMaker Server 展開においては、下記に一覧されたポートのすべてがエンドユーザ用またはすべてのマシン間で使用可能である必要はないことに注意してください。「開く」と記されたポートは、マシン間または「ポートを使用するプログラム」列に示されるエンドユーザ間のファイアウォールでポートが開いている必要があります。「内部使用」と記されたポートは、「ポートを使用するプログラム」列に記載されたマシン上の FileMaker Server によってローカル使用されません。これらのポートは他のプログラムによって使用されないようにしてください。ただし、ファイアウォールで開かれている必要はありません。

ポート番号	ポートを使用するプログラム	ステータス		目的
		開く	内部使用	
80 ※ 1	Web サーバマシン、エンドユーザー	○		HTTP
80 ※ 1	マスタマシン、エンドユーザー、及び Admin Console ユーザー	○		すべてのクライアントへのオブジェクトデータのプログレッシブダウンロード、Admin Console 用にポート 16000 へのリダイレクト
443 ※ 2	Web サーバマシン、エンドユーザー	○		HTTPS
443 ※ 2	マスタマシン、エンドユーザー	○		HTTPS:FileMaker Pro からのデータベースのアップロード、すべてのクライアントからの外部に保存されたオブジェクトフィールドへのデータの挿入
1895	マスタマシン (ローカルのみ)		○	FileMaker 内部
2399	マスタマシン、エンドユーザー	○		ODBC および JDBC 共有。ポート 2399 は ODBC および JDBC クライアントをサポートする場合のみ利用可能になっている必要があります。
5003	マスタマシン、エンドユーザー	○		FileMaker Pro および FileMaker Go クライアント向けのデータベースのホスト
5013	ワーカーマシン		○	FileMaker 内部
5015	Web 公開エンジンマシン		○	FileMaker 内部
8998	Web 公開エンジンマシン		○	FileMaker 内部
9889	Web 公開エンジンマシン		○	FileMaker 内部
9898	Web 公開エンジンマシン		○	FileMaker 内部
16000	マスタマシン Admin Console ユーザー	○		HTTPS: Admin Console 開始ページ、管理ヘルパー
16000	ワーカーマシン	○		Admin Helpers
16001	マスタマシン (ローカルのみ)		○	FileMaker 内部
16001	マスタマシン (ローカルのみ)		○	FileMaker 内部
16020	Web 公開エンジンマシン		○	FileMaker 内部
16021	Web 公開エンジンマシン		○	FileMaker 内部
50003	マスタマシン (ローカルのみ)		○	FileMaker Server サービス (Windows) またはバックグラウンドプロセス (OS X)
50004	マスタマシン		○	FileMaker スクリプトエンジン

※ 1：ポート 80、またはインストール中に指定する代替ポート

※ 2：ポート 443、またはインストール中に指定する代替ポート

4. その他推奨事項

サーバーの実行を確実かつ効率的に維持するためには、選択したオペレーティングシステムで問題を起こさないようにセットアップして構成する必要があります。

以下に Windows 及び OS X の構成に関する推奨事項を記載します。

1. Windows のセットアップ及び構成

推奨事項	実行方法
Windows Update のインストール	FileMaker Server の構成を行う前に、最新のサービスパックおよび Windows Update の適用を推奨します。
ディスクサブシステムの設定	<p>ディスクアレイを 3 つの論理パーティションに設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 つ目のパーティションに、オペレーティングシステムと FileMaker Server をインストールします。 2 つ目のパーティションに、FileMaker Server がホストするデータベースを格納します。 最後のパーティションに、ローカルバックアップファイルおよびパフォーマンスログを格納します。
ファイル共有を使用しない	FileMaker Server のデータベースへのアクセスは、FileMaker クライアントによるネットワークアクセスにて行います。Windows が提供するファイル共有は必要ありません。
不要なサービスの無効化	Windows がデフォルトで有効にするサービスのうち、FileMaker Server の機能には必要のないものを無効にします。FileMaker Server にはハードドライブおよびネットワークへのアクセスのみが必要です。
その他の Windows 設定の無効化	<p>FileMaker Server を実行するシステムを最適化する際に次の設定の変更を考慮します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ホストされているデータベースボリュームおよびバックアップボリュームの [ディスクインデックス] を無効にする。 ホストされているデータベースボリュームの [シャドーコピー] (ボリュームスナップショットサービス、または VSS) を無効にする。 仮想メモリスワップを静的サイズにして Windows が調整を試行しないようにします。推奨ファイルサイズの量で十分です。
Windows ファイアウォールの設定	<p>開くポートを確認し、マスタマシンおよび Web サーバマシンのファイアウォールを設定します。</p> <p>詳細は、「3. 使用されるポート」を参照してください。</p>
ハードドライブのデフラグ	データベースがユーザーにホストされている (使用中) 間はデフラグを行わないようにしてください。デフラグを行う前に、Admin Console よりライブでホストされているすべてのファイルを閉じてください。

推奨事項	実行方法
<p>ウイルススキャンの設定</p>	<p>データベースがユーザーにホストされている（使用中）時は、リアルタイムまたはオンアクセスウイルススキャンを避けてください。リアルタイムスキャンでは、ウイルススキャンがデータベースファイルのスキャンに長時間を費やすことがあり、これによりサーバーのディスク、メモリ、プロセッサに大きな負担をかけることになります。</p> <p>アンチウイルスソフトウェアがデータベースフォルダ（およびそのサブフォルダ）や、FileMaker Server や FileMaker Pro がデータベースを開くときに使用するフォルダをスキャンしないように設定します。</p> <p>ファイルのスキャンが必要な場合は、バックアップ先のフォルダをスキャンするようにアンチウイルスソフトウェアの設定を変更してください。この場合、FileMaker Server がバックアップを行っているときにアンチウイルスソフトウェアがスキャンを開始することがないようにスケジュールを設定する必要があります。できるだけ、ファイルのバックアップが完全に終了してからファイルをスキャンするようにしてください。</p>

2. OS X のセットアップ及び構成

推奨事項	実行方法
ライブでホストしているデータベースに影響を与える可能性のあるサービスを避ける	ライブでホストされているデータベースファイルに影響する、コピー、またはアクセスを許可するサービスやアプリケーションはデータベースの破損の原因になる可能性があります。FileMaker Server に負荷がかかっているときに直接アクセスされたファイルは破損する場合があります。ファイルにアクセスするプロセスを取り除くことでこの破損を回避します。ホストされているファイルにアクセスを試行するサービスおよびアプリケーションを避けてください。
ファイル共有を使用しない	FileMaker Server のデータベースへのアクセスは、FileMaker クライアントによるネットワークアクセスにて行います。ファイル共有は必要ありません。
OS X Spotlight をオフにする	Spotlight インデックスは FileMaker Server のパフォーマンスに影響を与える場合があります。Spotlight サービスは、情報がハードドライブに書き込まれる際にこれを自動的に監視し、高速なファイル検索のためにそのデータにインデックスを作成するサービスです。
Time Machine を使用しない	Time Machine は自動的にファイルをバックアップするアプリケーションですが、ライブの FileMaker データベースファイルのように使用中のファイルはバックアップしません。Time Machine を使用すると、データベースファイルをバックアップするように設定されている場合、ファイルは破損しませんが CPU への負荷が大きくなります。 データベースが格納されている場所を Time Machine の環境設定の [バックアップから除外する項目] セクションに追加して問題を回避します。
File Vault を有効にしない	FileVault は OS X の起動ボリューム全体を暗号化するために使用されます。FileMaker Server マシンでは FileVault を有効にしないでください。これは、ハードドライブ上のいかなるデータの移動に対してもソフトウェアの追加のレイヤーおよびより大きなプロセッサ処理を必要とします。代わりに、FileMaker Pro Advanced を使用してデータベースを暗号化します。
Dashboard を実行していないことを確認する	OS X Dashboard は小さなアプリケーションウィジェットの実行を必要とします。ログアウトするか Dashboard を終了します。(Dashboard はユーザがログアウトすると終了します) Dashboard を実行しないことでサーバーのリソースがウィジェットの実行に消費されなくなります。
ファイアーウォールの設定	開くポートを確認し、マスタマシンおよび Web サーバマシンのファイアーウォールを設定します。 詳細は、「3. 使用されるポート」を参照してください。

推奨事項	実行方法
<p>ディスクアクセス権と S.M.A.R.T. ステータス</p>	<p>OS X は UNIX で構築されているため、ホストされているデータベースファイルに対する根本的なアクセス権が不適切に設定される場合があります。データベースファイルが正しい場所にあっても、FileMaker Server でアクセス権を変更できないためアクセスできない状況が発生する可能性があります。FileMaker Pro を使用してデータベースファイルをアップロードして適切なファイルアクセス権を設定します。</p>
<p>ウイルススキャンの設定</p>	<p>データベースがユーザーにホストされている（使用中）時は、リアルタイムまたはオンアクセスウイルススキャンを避けてください。リアルタイムスキャンでは、ウイルススキャンがデータベースファイルのスキャンに長時間を費やすことがあり、これによりサーバーのディスク、メモリ、プロセッサに大きな負担をかけることになります。</p> <p>アンチウイルスソフトウェアがデータベースフォルダ（およびそのサブフォルダ）や、FileMaker Server や FileMaker Pro がデータベースを開くときに使用するフォルダをスキャンしないように設定します。</p> <p>ファイルのスキャンが必要な場合は、バックアップ先のフォルダをスキャンするようにアンチウイルスソフトウェアの設定を変更してください。この場合、FileMaker Server がバックアップを行っているときにアンチウイルスソフトウェアがスキャンを開始することがないようにスケジュールを設定する必要があります。できるだけ、ファイルのバックアップが完全に終了してからファイルをスキャンするようにしてください。</p>

FileMaker Server 設定依頼確認書 (Windows)

1. ハードウェア構成

RAM	CPU

2. ドライブ構成

ドライブ番号	容量 (GB)	タイプ	ボリューム名	用途	備考

3. サーバー構成

- データベースサーバー Web 公開サーバー データベースサーバーと Web 公開サーバーの共存
 スタンバイ・サーバー

4. インストールするオペレーティングシステム

名称	備考

5. 追加導入するソフトウェア

ソフトウェア	バージョン	備考
FileMaker Server 15 Microsoft Visual C++ 2013 Redistributable (x64) Microsoft Application Request Routing extension for IIS Bonjour Java Runtime Environment Version 8	15.x.x.x	FileMaker Server インストール時に導入される FileMaker Server インストール時に導入される FileMaker Server インストール時に導入される FileMaker Server インストール時に導入される

FileMaker Server Admin Console ログインユーザー

ユーザー名	説明	パスワード	備考
	FileMaker Server の管理者ユーザー		

6. 導入時のパラメータ

	設定値	備考
インストールする言語	日本語	
時刻と通貨の形式	日本語 (日本)	
キーボードまたは入力形式	Microsoft IME	
キーボードの種類	日本語キーボード (106/109 キー)	
Administrator のパスワード		

7. コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定

	設定値	備考
コンピュータ名		
ワークグループまたはドメイン名		

8. アカウント オペレーティングシステムへのログインユーザー

ユーザー名	説明	パスワード	所属グループ
	FileMaker Server がインストールされているマシンへのログインユーザー		

9. サーバーの役割と機能

- Web サーバー (IIS)

※ FileMaker では、他の機能は必要としていません。必要な機能に関しては、その環境に応じて選択してください。

10. システム設定

		設定値	備考
仮想メモリ	すべてのドライブのページングファイルのサイズを自動的に管理する カスタムサイズ	<input type="checkbox"/> 有効 <input checked="" type="checkbox"/> 無効	デフォルト：有効
		<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効	デフォルト：無効
ディスクのプロパティ	このドライブ上のファイルに対し、プロパティだけでなくコンテンツにもインデックスをつける	<input type="checkbox"/> 有効 <input checked="" type="checkbox"/> 無効	デフォルト：有効
		<input type="checkbox"/> 有効 <input checked="" type="checkbox"/> 無効	デフォルト：有効
シャドウコピーの構成	シャドウコピー	<input type="checkbox"/> 有効 <input checked="" type="checkbox"/> 無効	デフォルト：無効
Windows Update		<input type="checkbox"/> 更新プログラムを自動的にインストールする <input type="checkbox"/> 更新プログラムをダウンロードするが、インストールを行うかどうかは選択する <input checked="" type="checkbox"/> 更新プログラムを確認するが、ダウンロードとインストールを行うかどうかは選択する <input type="checkbox"/> 更新プログラムを確認しない	デフォルト：更新プログラムを自動的にインストールする

11. Windows ファイアウォールの設定

パラメータ名	設定値	備考	
全般	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効 <input type="checkbox"/> すべての着信接続をブロックする	デフォルト：有効	
例外	プログラム	<input type="checkbox"/> BITS ピアキャッシュ <input type="checkbox"/> COM+ ネットワークアクセス <input type="checkbox"/> iSCSI サービス <input type="checkbox"/> Netlogon サービス <input type="checkbox"/> Secure Socket トンネリングプロトコル <input type="checkbox"/> SNMP Trap <input type="checkbox"/> Windows Management Instrumentation (WMI) <input type="checkbox"/> Windows セキュリティの構成ウィザード <input type="checkbox"/> Windows ファイアウォールリモート管理 <input type="checkbox"/> Windows リモート管理 <input type="checkbox"/> キー管理サービス <input type="checkbox"/> コアネットワーク <input type="checkbox"/> スケジュールされたリモートタスク管理 <input type="checkbox"/> ネットワーク探索 <input type="checkbox"/> パフォーマンスログと警告 <input type="checkbox"/> ファイルとプリンタの共有 <input type="checkbox"/> リモートイベントのログ管理 <input type="checkbox"/> リモートサービス管理 <input type="checkbox"/> リモートデスクトップ <input type="checkbox"/> リモートボリューム管理 <input type="checkbox"/> リモート管理 <input type="checkbox"/> ルーティングとリモートアクセス	デフォルト：無効
	ポート番号	80 HTTP、すべてのクライアントへのオブジェクトデータのプログレッシブダウンロード、Admin Console 用のポート 16000 ヘリダイレクト <input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用 443 HTTPS、FileMaker Pro からデータベースをアップロード、外部に保存したオブジェクトファイルにすべてのクライアントからのデータを挿入 <input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用 2399 ODBC 及び JDBC 共有 <input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用 5003 FileMaker Pro および FileMaker Go クライアントのデータベースをホスト <input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用 5353 Bonjour IP ネットワーク上のコンピュータ、デバイス、およびサービスを自動検出するサービス <input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用 8998 FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン) <input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用 9090 FileMaker 内部にて使用 (マスタマシン (ローカルのみ)) <input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用 9889 FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン) <input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用 9898 FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン) <input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用 16000 マスタマシン、Admin Console <input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用 16001 FileMaker 内部にて使用 (マスタマシン (ローカルのみ)) <input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用 16002 FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン) <input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用 16020 FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン) <input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用 16021 FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン) <input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用 50003 FileMaker Server サービス (Windows) またはバックグラウンドプロセス (OS X) (マスタマシン (ローカルのみ)) <input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用	
詳細	ネットワーク接続の設定	<input checked="" type="checkbox"/> ローカルエリア接続 <input checked="" type="checkbox"/> ローカルエリア接続 2	デフォルト：有効

※内部使用 FileMaker がシステム内部で利用しているポート。ファイアウォールにて開く必要はないが、他のプログラムによって使用されないようにする。

推奨設定

FileMaker Server 設定依頼確認書 (OSX)

1. ハードウェア構成

RAM	CPU

2. ドライブ構成

ドライブ番号	容量 (GB)	タイプ	ボリューム名	用途	備考

3. サーバー構成

- データベースサーバー Web 公開サーバー データベースサーバーと Web 公開サーバーの共存
 スタンバイ・サーバー

4. インストールするオペレーティングシステム

名称	備考

5. 追加導入するソフトウェア

ソフトウェア	バージョン	備考
FileMaker Server 15 Java Runtime Environment Version 8 Apache	15.x.x.x	FileMaker Server インストール時に導入される OSインストール時にデフォルトでインストール済み。 FileMaker Server インストール時に自動的に有効化

FileMaker Server Admin Console ログインユーザー

ユーザー名	説明	パスワード	備考
	FileMaker Server の管理者ユーザー		

6. 導入時のパラメータ

	設定値	備考
インストールする言語	日本語	
時刻と通貨の形式	日本語 (日本)	
キーボードまたは入力形式		
キーボードの種類	日本語キーボード (106/109 キー)	
Apple ID		
管理者のパスワード		

7. コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定

	設定値	備考
コンピュータ名		
ワークグループまたはドメイン名		

8. ユーザーアカウント

ユーザー名	説明	パスワード	所属グループ
	FileMaker Server がインストールされているマシンへのログインユーザー		

9. システム設定

システム環境設定		設定値	備考
共有	ファイル共有	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 切	デフォルト：切
Spotlight	Spotlight 検索のキーボードショートカット	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 切	デフォルト：入
	Finder 検索ウィンドウのキーボードショートカット	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 切	デフォルト：入
Time Machine	Time Machine	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 切	デフォルト：切
セキュリティとプライバシー	File Vault	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 切	デフォルト：切
Mission Control	Dashboard	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 切	デフォルト：切

10. ファイアウォールの設定

パラメータ名	設定値	備考																																												
ファイアウォール	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 切	デフォルト：切																																												
ファイアウォールのオプション	<input type="checkbox"/> 外部からの接続をすべて	<input checked="" type="checkbox"/> 署名されたソフトウェアが外部からの接続を受け入れるのを自動的に許可 <input checked="" type="checkbox"/> ステルスモードを有効にする	デフォルト：有効 デフォルト：無効																																											
	ポート番号	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>80</td> <td>HTTP、すべてのクライアントへのオブジェクトデータのプログレッシブダウンロード、Admin Console 用のポート 16000 ヘリダイレクト</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用</td> </tr> <tr> <td>443</td> <td>HTTPS、FileMaker Pro からデータベースをアップロード、外部に保存したオブジェクトフィールドにすべてのクライアントからのデータを挿入</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用</td> </tr> <tr> <td>2399</td> <td>ODBC 及び JDBC 共有</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用</td> </tr> <tr> <td>5003</td> <td>FileMaker Pro および FileMaker Go クライアントのデータベースをホスト</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用</td> </tr> <tr> <td>5353</td> <td>Bonjour IP ネットワーク上のコンピュータ、デバイス、およびサービスを自動検出するサービス</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用</td> </tr> <tr> <td>8998</td> <td>FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン)</td> <td><input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用</td> </tr> <tr> <td>9090</td> <td>FileMaker 内部にて使用 (マスタマシン (ローカルのみ))</td> <td><input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用</td> </tr> <tr> <td>9889</td> <td>FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン)</td> <td><input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用</td> </tr> <tr> <td>9898</td> <td>FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン)</td> <td><input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用</td> </tr> <tr> <td>16000</td> <td>マスタマシン、Admin Console</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用</td> </tr> <tr> <td>16001</td> <td>FileMaker 内部にて使用 (マスタマシン (ローカルのみ))</td> <td><input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用</td> </tr> <tr> <td>16002</td> <td>FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン)</td> <td><input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用</td> </tr> <tr> <td>16020</td> <td>FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン)</td> <td><input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用</td> </tr> <tr> <td>16021</td> <td>FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン)</td> <td><input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用</td> </tr> <tr> <td>50003</td> <td>FileMaker Server サービス (Windows) またはバックグラウンドプロセス (OS X) (マスタマシン (ローカルのみ))</td> <td><input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用</td> </tr> </tbody> </table>	80	HTTP、すべてのクライアントへのオブジェクトデータのプログレッシブダウンロード、Admin Console 用のポート 16000 ヘリダイレクト	<input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用	443	HTTPS、FileMaker Pro からデータベースをアップロード、外部に保存したオブジェクトフィールドにすべてのクライアントからのデータを挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用	2399	ODBC 及び JDBC 共有	<input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用	5003	FileMaker Pro および FileMaker Go クライアントのデータベースをホスト	<input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用	5353	Bonjour IP ネットワーク上のコンピュータ、デバイス、およびサービスを自動検出するサービス	<input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用	8998	FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン)	<input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用	9090	FileMaker 内部にて使用 (マスタマシン (ローカルのみ))	<input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用	9889	FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン)	<input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用	9898	FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン)	<input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用	16000	マスタマシン、Admin Console	<input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用	16001	FileMaker 内部にて使用 (マスタマシン (ローカルのみ))	<input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用	16002	FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン)	<input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用	16020	FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン)	<input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用	16021	FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン)	<input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用	50003	FileMaker Server サービス (Windows) またはバックグラウンドプロセス (OS X) (マスタマシン (ローカルのみ))
80	HTTP、すべてのクライアントへのオブジェクトデータのプログレッシブダウンロード、Admin Console 用のポート 16000 ヘリダイレクト	<input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用																																												
443	HTTPS、FileMaker Pro からデータベースをアップロード、外部に保存したオブジェクトフィールドにすべてのクライアントからのデータを挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用																																												
2399	ODBC 及び JDBC 共有	<input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用																																												
5003	FileMaker Pro および FileMaker Go クライアントのデータベースをホスト	<input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用																																												
5353	Bonjour IP ネットワーク上のコンピュータ、デバイス、およびサービスを自動検出するサービス	<input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用																																												
8998	FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン)	<input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用																																												
9090	FileMaker 内部にて使用 (マスタマシン (ローカルのみ))	<input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用																																												
9889	FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン)	<input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用																																												
9898	FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン)	<input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用																																												
16000	マスタマシン、Admin Console	<input checked="" type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 内部使用																																												
16001	FileMaker 内部にて使用 (マスタマシン (ローカルのみ))	<input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用																																												
16002	FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン)	<input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用																																												
16020	FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン)	<input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用																																												
16021	FileMaker 内部にて使用 (Web 公開エンジンマシン)	<input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用																																												
50003	FileMaker Server サービス (Windows) またはバックグラウンドプロセス (OS X) (マスタマシン (ローカルのみ))	<input type="checkbox"/> 開く <input checked="" type="checkbox"/> 内部使用																																												

※内部使用 FileMaker がシステム内部で利用しているポート。ファイアウォールにて開く必要はないが、他のプログラムによって使用されないようにする。

推奨設定